

懐風館高校 令和7年度第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和8年1月21日(水) 14:00～16:00

2 出席委員 6名

木村委員 松村委員 木下委員 阪本委員 桑野委員 仲谷委員

3 報告及び協議記録 □・・・学校運営協議会委員 ▲・・・事務局

【報告】

・令和7年度学校教育活動の状況について

▲令和7年12月に2年生が沖縄へ修学旅行に行った。2月に耐寒行事を実施する予定。
生徒の学校生活、学校の教育活動については日常の取組みを地道に継続している。

【協議】

(1) 令和7年度学校評価について

▲主に4点について説明(授業、生徒指導・教育相談、進路指導、学校運営等)。全般的に比較的高い評価をいただいている。今後も羽曳野市、地域の方々、中学校の先生方、卒業生の皆さま、PTAの皆さまにご支援をいただきながら、在校生の学校生活の充実により一層重点を置き、取組んでいく。

(2) 令和8年度学校経営計画について

▲中期的目標について主な変更点4点について説明(授業の充実、生徒指導・教育相談体制の充実、毎日パソコン入力コンクール実施、労働安全衛生管理体制の充実)。今後も授業を中心とした在校生の学校生活を充実させることに重点を置くとともに、職員の超過勤務時間を減らす取組みを継続していく。

※中期的目標について委員全員の了承をいただいた。

(3) 次年度取組みの重点・提言について

□PTA大会における研究成果発表で、印象的な発表があった。中学校において生徒の意見を取り入れて制服や校則などを決めている、というものだった。生徒が自発的に取り組むことで学力が向上し、責任感も持つようになるとのことだった。

□羽曳野市の中学校でも生徒会と教員の定期的な話し合いをして学校生活の事柄を決めたことがあった。子供の力を信じるのが大切だと実感した。

□子供から自主的な行動を引き出すことが大切。地域と学校が協力していくことも必要。

□学校は生徒が卒業しても、いつでも帰ってくることができる場所であってほしい。

・提言：生徒を主役にした取組みをさらに進化させてほしい